NPO法人
障連協にゅーす

第　５　号
発行日　平成１７年7月１０日
編　集　ＮＰＯ法人
旭川障害者連絡協議会
発行者　峰　木　光　春
住　所　旭川市宮前通東4155番地30
障害者福祉センター
「おぴった」３Ｆ
電　話　０１６６－３１－２２２６

初夏の大雪山連峰（花咲大橋より）

「旭川市指定管理業者に指定されて」

ＮＰＯ法人　旭川障害者連絡協議会
理事長　峰　木　光　春

旭川市障害者福祉センター「おぴった」の運営を旭川市から当法人に委託を受けて四年目に入りましたが、今年度四月より指定管理業者制度により指定管理者として選定され改めて心機一転、関係者一同、各々の業務に励んでいるところです。

障害者福祉センター「おぴった」の運営管理に当たっては、これまで以上に利用する市民へのサービスに努めるとともに経費節減の努力も払わなければなりません。センターの入館者数は毎年増加しており、平成十五年度は十二万人、十六年度は十四万人に達しております。この半数が一般市民であり、障害者とのふれ合いが進んでいることは誇るべきことです。「障連協」でも「おぴった」を活用した地域活動や文化活動が始動しております。事業部では、市民への「おぴった」の広報や地域住民とのふれ合い、障害者作業所の製品販売のため、八月十日にセンター広場で「おぴったまつり」を開催します。文化部でも調理室や陶芸室を利用したヘルシークッキング教室や陶芸教室等を予定しております。

ＮＰＯ法人障連協が指定管理者としての利点を活用しながら、旭川市障害者福祉センターを通し一層の福祉向上が図られるように努めて参りたいと考えます。

2005年度特定非営利活動法人 旭川障害者連絡協議会 定期総会

と　き　２００５年5月２２日（日）　午後1時３０分
ところ　旭川障害者福祉センター「おぴった」第１会議室

２００５年度ＮＰＯ法人旭川連絡協議会定期総会が上記の日程で開催されました。

総会次第は峰木光春理事長の挨拶ではじまり、続いて重野健一旭川市保健福祉部長・福田正幸旭川市社会福祉協議会事務局長より来賓の挨拶を受けました。事務局より総会成立を満たす出席者が発表され議事に入りました。今回の議長には濱田勝夫氏（障害者問題を考える会）、梅本里美氏（地域共同作業所・ニムビン）の二人が選出されました。議事録署名人は藤井卯太郎氏（旭川身体障害者福祉協会）、長山昌広氏（旭川アカシア会）の両名でした。
議事内容は以下のとおりです。

報告事項
第１号議案　平成１６年度　事業活動報告
第２号議案　平成１６年度　収支・決算報告
第３号議案　平成１６年度　監査報告

審議事項
第４号議案　平成１７年度　事業活動方針（案）
第５号議案　平成１７年度　収支予算（案）

◆ 第１号議案　平成１６年度事業活動報告 ◆

◎平成１６年度スポーツ関連事業（旭川市より委託）

事業名	実施日	実施場所	参加人数
旭川市障害者水泳教室	平成16年6月 3日、10日、17日、24日(木)	おぴった１階 水浴訓練室（プール）	５1名
旭川市障害者スポーツフェスタ	平成16年7月18日(日)	大雪アリーナ	５４5名
旭川市障害者水泳教室	平成166年8月 3日、4日、5日、6日(火～金)	おぴった１階 水浴訓練室（プール）	７2名
旭川市ボッチャ教室	平成16年10月3日(日)	おぴった２階　体育館	１8名
旭川市障害者球技大会	平成16年11月21日(日)	おぴった２階　体育館	２９3名
旭川市グランドゴルフ教室	平成17年1月16日(日)	おぴった２階　体育館	３2名
旭川市フライングディスク教室	平成17年2月20日(日)	おぴった２階　体育館	３0名

◎旭川市障害者週間記念事業（旭川市より委託）

平成１６年１２月４日（土）「旭川市障害者週間」街頭啓発　買い物公園一帯　　参加２５名
平成１６年１２月５日（日）「旭川市障害者週間」記念事業　おぴった全館　　参加３００名

◎他団体と共同行動

平成１６年１１月７日（日）　旭川市消防音楽隊演奏会　クリスタルホール　　参加８０名

◎障害者等支援相談室（１０月５日開始）

・相談者数……１２３名　・相談件数……３２件

〈 相談内容 〉

・療育相談……１２件
・人間関係……１件
・ボランティアについて……１件
・悩み……１件
・就職相談……９件
・各種年金相談……３件
・難病相談……３件
・障害児の支援……１件
・地域生活ネットワークづくり……１件

◎平成１６年度定期総会以降の活動報告

月	日	活　動　内　容
4月	1日	管理職員昇給辞令交付式　荒川専務、高橋常務理事、工藤事務局長、大山事務局員
	24日	障連協年度監査　富田監事、惣伊田監事、工藤事務局長、大山事務局員
	27日	障害福祉課より長谷川課長、大家係長、加納主査来訪 工藤事務局長、大山事務局員、北野所長、土居副所長対応
	28日	障連協理事会、鈴木理事長他　７名
	30日	障害福祉課へ訪問　工藤事務局長、土居副所長
5月	11日	障害福祉課より長谷川課長、大家係長、加納主査来訪 工藤事務局長、大山事務局員、北野所長、土居副所長対応
	14日	障連協理事会、鈴木理事長他　１４名
	18日	市民活動交流センター　冬期路視察交流　文化会館　佐藤
	21日	障連協役員選考委負会　峰木理事、篠田理事、稲垣理事、工藤事務局長
	〃	ハローワーク求人依頼　工藤事務局長
	27日	障連協役員選考委員会　峰木理事、篠田理事、稲垣理事、工藤事務局長
	30日	障連協総会　３１名　手話通訳　５名
	〃	障連協交流会　２０名　手話通訳　２名
6月	1日	障連協理事会　峰木理事長他　１７名、要約筆記　２名
	3日	旭川市障害者スポーツ教室（水泳の部） 障害福祉課長谷川課長、荒川副理事長、工藤事務局長、大山事務局次長
	4日	広報委員会　青木副理事長、篠田常務理事、大橋理事、富田監事
	8日	札幌へ道議会要請行動　峰木理事長、荒川副理事長、青木副理事長、平山常務理事、 稲垣理事、川田
	〃	市民活動交流センター　旭川市土木部（公園みどり課）、佐藤
	9日	旭川市障害者スポーツフェスタ打合わせ、田辺常務理事、工藤事務局長、大山事務局次長、 旭川市障害者スポーツ協会　阿部氏
	10日	旭川市消防本部へ旭川市障害者スポーツフェスタ出演依頼　工藤事務局長、 大山事務局次長
	〃	管理事務と打合わせ　工藤事務局長、大山事務局次長、北野所長、土居副所長
	11日	障連協理事会　峰木理事長他　１５名
	16日	旭川市障害者水泳教室　３３名
	17日	〃
	23日	三役会議　峰木理事長、専務理事、副理事長　２名
	24日	旭川市障害者水泳教室　３３名
	25日	広報部会　４名

月	日	活　動　内　容
６月	28日	旭川市設備課広岡氏来訪　工藤対応
	29日	三役会議　荒川、青木、工藤
	30日	旭川市役所　長谷川課長　加納主査来訪
７月	13日	スポーツフェスタ　役員合同会議　４０名
	16日	旭川市本庁オストメイト・トイレ打合せ　５名
	18日	スポーツフェスタ　４５４名
	28日	広報部会　青木理事、篠田常務、富田監事、大橋理事
８月	4日	三役会議　峰木理事他　４名
	7日	中間監査　冨田、惣井田、大山
	10～13日	旭川市障害者水泳教室　参加者　１８名
	12日	理事会　峰木、荒川、鈴木、平山、田辺、篠田、佐藤、稲垣、大橋、村瀬、高橋、川尻、惣伊田、石川
	16日	理事長と打合せ 工藤事務局長
	19日	三役会議　長谷川課長他　５名
９月	5日	障連協常務理事会　理事長他　１０名
	〃	市との打合わせ　８名
	14日	旭川市球技大会　実行委員会　５名
	17日	障連協理事会　１６名
	18日	障連協相談員学習会　８名
	22日	市民活動交流センター　冬期路視察交流　文化会館　佐藤
	24日	事務局、管理、看護師打合わせ　８名
	29日	旭川市障害者週間打合わせ　８名
10月	3日	旭川市スポーツ教室　ボッチャ　８名
	7日	障連協第１回事務局会議　１３名
	8日	障連協　理事会　１２名
	11日	市民活動交流センター　冬期路視察交流　文化会館　佐藤
	15日	市、事務局、管理打合わせ　４名
	16日	障連協　広報委員会　４名
	20日	〃　三役会義　３名
	〃	〃　法務局　２名
	26日	〃　常務理事会　１１名
	27日	指定管理者制度書類作成　４名
	〃	旭川市障害福祉課来訪　２名　指定管理者制度について
	28日	〃　２名
	〃	旭川市都市建築設備課来訪　２名　オストメイト対応について
11月	1日	交通バリアフリー教室　主催：国交省北海道運輸局、旭川空港ターミナルビル　佐藤
	7日	消防音楽隊演奏会
	13日	人事について打合わせ　４名
	16日	障連協　理事会　１４名
	21日	旭川市障害者球技大会　１０６名
	30日	障害者等相談室研修会
	〃	広報委員会　５名

月	日	活　動　内　容
11月	30日	交通バリアフリー教室　車椅子担当講師：田辺、車椅子アドバイザー：佐藤 視覚障害担当講師：村瀬、アドバイザー：池田
12月	4日	旭川市「障害者週間」記念事業　啓発事業　２５名
	5日	〃　記念事業　２５名
	8日	障連協　理事会　１３名
	9日	法務局へ登記簿謄本発行　１名
	10日	人事担当理事と打合わせ　２名
	〃	広報委員会　３名
	21日	〃　３名
	29日	〃　２名
1月	5日	仕事始め　３名
	6日	広報委員会
	9日	旭川ろうあ協会　新年交礼会　１名
	12日	市民活動交流センター　冬期路視察交流　文化会館　佐藤
	13日	平山氏受賞祝賀会打合わせ　３名
	14日	広報委員会　３名
	〃	新年交礼会　４６名
	16日	グランドゴルフ教室　３１名
	24日	平山氏受賞祝賀会　６名
	25日	三役会議　４名
	26日	介護高齢課阿部主査来訪　１名
	27日	障連協　三役会議　４名
	28日	科学館多用途トイレ図面持参　４名
	29日	障連協　中間監査
	30日	身障協会　新年交礼会
2月	8日	心肺蘇生機を使用しての研修　４名
	〃	障連協　三役会議　４名
	9日	〃　協定書読み合わせ　４名
	10日	〃　協定書読み合わせ　４名
	16日	障連協　理事会　１４名
	20日	フライングディスク教室　２９名
3月	1日	指名競争入札選定委員会　１名
	4日	介護高齢課阿部主査来訪　１名
	8日	障害福祉課、上川支庁へ要望書提出　３名
	〃	広報委員会　４名
	22日	介護高齢課阿部主査来訪　１名
	〃	旭川障害者スポーツ協会阿部氏と打合せ　１名
	23日	指名競争入札　４名
	24日	バス運転手面接　２名
	25日	市との打合わせ
	26日	障連協　理事会　１０名
	29日	美深高等養護学校教諭来訪　２名
	31日	障連協　三役会議　４名

◆ 第２号議案　平成１６年度収支報告 ◆

平成１６年度特定非営利活動に係わる事業計画収支報告書　　**平成16年4月1日から平成17年3月31日まで**

科　目	１６年度予算	１６年度決算	備　考
Ⅰ収入金額			
1. 会費収入			
個人会員	51,000	51,000	@3,000×17
団体会員	75,000	75,000	@5,000×15
2. 事業収入			
管理運営委託事業	62,730,000	62,730,000	旭川市よりセンター管理事務委託金
シャトルバス運行補助事業	8,700,000	8,700,000	旭川市よりシャトルバス事業補助金
障害者スポーツフェスタ委託事業	667,000	667,000	旭川市より障害者スポーツフェスタ委託金
障害者スポーツ教室委託事業	287,000	287,000	旭川市より障害者スポーツ教室委託金
障害者球技大会委託事業	616,000	616,000	旭川市より障害者球技大会委託金
「障害者週間」記念委託事業	960,000	960,000	旭川市より障害者週間委託金
3. 寄付金	30,000	62,300	ライオンズクラブ・啓明地区婦人部会・岸上氏・惣伊田氏より
4. 交付金・助成金	300,000	661,700	特定求職者雇用開発助成金
5. 自販機収入	700,000	754,946	自動販売機手数料（道北飲料、コカコーラ、パシフィックベンディング、身障協会）
6. その他	330,000	245,833	交流会会員負担分、コピー料、普通預金利息　他
7. 受取消費税　A	3,312,500	3,296,934	各委託事業・自販機収入・その他よりの消費税
8. 各事業より		7,051,888	
小計A	**78,758,500**	**86,159,601**	
9. 前年度繰越	5,700,280	5,700,280	
収 入 合 計	**84,458,780**	**91,859,881**	
Ⅱ支出金額			
1. 管理運営委託事業			
給　与（賃金含む）	18,730,800	18,854,024	管理職員、看護師、理学療法士
通勤手当	933,600	939,680	管理職員、看護師、理学療法士
賞　与	2,892,000	2,950,000	管理職員、看護師
燃料手当	800,800	800,800	管理職員、看護師
健康保健	1,143,035	1,016,389	管理職員、看護師
厚生年金	1,667,285	1,558,547	管理職員、看護師
雇用労災保険	385,062	563,765	管理職員、看護師
児童手当拠出金	22,100	21,038	管理職員、看護師
健康診断料	80,000	63,110	管理職員、看護師
消耗品	2,135,050	1,920,573	施設内消耗品、検査料、事務消耗品
修繕費	492,000	1,254,697	施設内外修繕費
委託料等	25,949,000	24,606,400	水浴訓練室他施設内点検委託、公共駐車場及び職員出入口除雪　他
管理事務経費	2,565,228	378,349	管理事務経費一般
通信費	876,480	614,467	電話料、ＮＨＫ放送受信料、インターネット受信料　他
リース料	1,864,800	1,341,600	トイレ防臭機、分煙機、レジスター、プリンター　他
保険料	103,360	103,360	施設賠償保険料、美術品保険料　他
租税公課	0	87,000	印紙代
仮払消費税　B	1,569,300	1,491,729	
小計	**62,209,900**	**58,565,528**	
障連協委託分		5,656,201	障連協分事務経費負担、バス事業一部負担
小計	**62,209,900**	**64,221,729**	
2. シャトルバス運行補助事業			
給　与	6,918,000	7,254,138	運転手、介助員
通勤手当	384,600	386,400	運転手、介助員
賞　与	1,053,000	1,062,200	運転手、介助員
燃料手当	237,600	367,400	運転手、介助員
健康保健	369,290	349,403	運転手、介助員
厚生年金	538,664	538,990	運転手、介助員
雇用労災保険	126,264	194,353	運転手、介助員
児童手当拠出金	7,139	6,596	運転手、介助員
健康診断料	20,000	25,000	運転手、介助員
車検費用・任意保険	437,300	454,271	車検費用、車両任意保険
車両燃料費	456,000	424,892	バス燃料費
運行事務経費	201,605	7,800	運行事務経費
仮払消費税　B	39,700	0	障連協に合算
小計	**10,789,162**	**11,071,443**	
3. 障害者スポーツフェスタ委託事業			
事務費	442,500	54,067	事務手数料、通信費　他
報償費	134,500	172,786	スポーツ協会謝礼　他

消耗品	70,000	79,284	消耗品
災害保険料	20,000	20,600	参加者等損害保険料
仮払消費税 B	9,725	10,679	
小計		**337,416**	
障連協委託分		336,247	障連協分事務経費負担
小計	**676,725**	**673,663**	
4. 障害者スポーツ教室委託事業			
事務費	114,000	3,9708	事務手数料、通信費他
報償費	110,000	110,000	スポーツ協会謝礼 他
消耗品	30,000	20,640	消耗品
災害保険料	33,000	11,330	参加者等損害保険料
仮払消費税 B	1,500	3,016	
小計	**288,500**	**184,694**	
障連協委託分		105,322	障連協分事務経費負担
小計	**288,500**	**290,016**	
5. 障害者球技大会委託事業			
事務費	438,500	4,800	事務手数料、通信費 他
報償費	92,500	38,810	スポーツ協会謝礼 他
消耗品	70,000	92,392	消耗品
災害保険料	15,000	7,210	参加者等損害保険料
仮払消費税 B	7,625	5,558	
小計	**623,625**	**148,770**	
障連協委託分		472,788	障連協分事務経費負担
小計	**623,625**	**621,558**	
6. 障害者週間記念委託事業			
事務費	564,040	48,224	事務手数料、通信費 他
報償費	160,000	120,000	講師謝礼 他
消耗品	215,000	272,836	会場設営費、啓発用チラシ他
旅費交通費	20,960	37,610	交通費
仮払消費税 B	13,458	15,054	
小計	**973,458**	**493,724**	
障連協委託分		481,330	障連協分事務経費負担
小計	**973,458**	**975,054**	
7. 学習会			
謝 礼	200,000	0	講師謝礼 他
旅 費	150,000	0	交通費
会場借上げ	50,000	0	会場設営費 他
小計	**400,000**	**0**	
8. 一般管理費(障連協事務局)			
貸 金	2,918,800	2,673,550	事務局員、パート職員
法定福利費	292,394	290,153	事務局員
健康診断料	7,500	25,000	事務局員健康診断料 他
旅費交通費	750,000	921,154	事務局長交通費、理事会及び常務理事会交通費
通信運搬費	130,000	164,951	電話料、郵送料
印刷製本費	300,000	259,122	機関誌発行代
車両費	240,000	248,518	ﾘｰｽ車両燃料代、事務局員車両借り上げ及びガソリン代
使用料(会議費)	80,000	107,324	会議用会場費 他
負担金	11,000	15,000	NPOサポートセンター入会費 他
事業費	800,000	318,642	各事業費予算
事務費	0	161,105	各種手数料 他
消耗品費	250,000	276,267	事務消耗品 他
交際費	150,000	32,930	慶弔費 他
新聞図書費	0	14,700	福祉新聞購読料
ﾘｰｽ料	0	154,400	事務用車両ﾘｰｽ代
保険料	0	10,200	理事･監事ボランティア保険
租税公課	100,000	27,000	印紙代 他
予備費	570,260	0	活動予備費
支払報酬	100,000	100,000	税理士事務手数料
法人税等	80,000	0	法人道市民税
仮払消費税 B	118,856	106,455	
小計	**6,898,810**	**5,906,471**	
支払消費税 A－B	**1,598,600**	**1,664,443**	**特別準備金へ振替**
支 出 合 計	**84,458,780**	**85,424,377**	
当 期 残 高	**0**	**6,435,504**	

◆ 第２号議案　平成１６年度決算報告 ◆

平成16年度決算報告試算表

貸借対照表

《資産の部》

		管理運営事業		スポーツ関連委託事業			記念委託事業	
勘定科目／事業名	障害者連絡協議会	管理事務委託事業	バス運行補助事業	スポーツフェスタ	スポーツ教室	球技大会	障害者週間	合　計
【現金･預金】								
現金	291,165	50,000	0	0	0	0	0	341,165
普通預金	7,167,223	3,661,297	164,801	0	0	0	0	10,993,321
定期預金	1,000,000	0	0	0	0	0	0	1,000,000
合計	8,458,388	3,711,297	164,801	0	0	0	0	12,334,486
【流動資産】								
未収入金	12,019	0	0	0	0	0	0	12,019
合計	12,019	0	0	0	0	0	0	12,019
【有形固定資産】								
少額資産	766,965	0	0	0	0	0	0	766,965
合計	766,965	0	0	0	0	0	0	766,965
資産の部合計	9,237,372	3,711,297	164,801	0	0	0	0	13,113,470

《負債の部･資本の部》

【流動負債】								
未払金	150,800	3,771,297	164,801	0	0	0	0	4,086,898
未払法人税等	80,000	0	0	0	0	0	0	80,000
預り金	0	0	0	0	0	0	0	0
前受金	0	0	0	0	0	0	0	0
負債の部合計	230,800	3,771,297	164,801	0	0	0	0	4,166,898

【資本金】

資本金	0	0	0	0	0	0	0	0
資本の部合計	0	0	0	0	0	0	0	0

【法定準備金】

特別準備金	2,571,068	0	0	0	0	0	0	0
準備金の部合計	2,571,068	0	0	0	0	0	0	0

【繰延資産】

前期余剰損益	5,704,296	0	0	-4,016	0	0	0	5,700,280
今期余剰損益	731,208	0	0	4,016	0	0	0	735,224
次期繰越合計	6,435,504	0	0	0	0	0	0	6,435,504

損益計算書

《収入の部》

		管理運営事業		スポーツ関連委託事業			記念委託事業	
勘定科目/事業名	障害者連絡協議会	管理事務委託事業	バス運行補助事業	スポーツフェス	スポーツ教室	球技大会	障害者週間	合　計
会費収入	126,000	0	0	0	0	0	0	126,000
事業収入助成交付金	661,700	0	0	0	0	0	0	661,700
事業収入自販機手数料	754,946	0	0	0	0	0	0	754,946
事業収入交流会費等	144,000	0	0	0	0	0	0	144,000
事業収入コピー手数料	61,249	0	0	0	0	0	0	61,249
事業収入旭川市より	0	62,730,000	8,700,000	667,000	287,000	616,000	960,000	73,960,000
寄付金収入	62,300	0	0	0	0	0	0	62,300
事業収入他の事業よ	4,680,445	0	2,371,443	0	0	0	0	7,051,888
収入の部合計	6,490,640	62,730,000	11,071,443	667,000	287,000	616,000	960,000	82,822,083

《支出の部》

給料手当	2,307,550	19,793,704	7,640,538					29,741,792
賞与	366,000	3,750,800	1,429,600					5,546,400
法定福利費	290,153	3,159,739	1,089,342					4,539,234
福利厚生費	25,000	63,110	25,000					113,110
交際費	32,930							32,930
会議費	107,324							107,324
旅費交通費	921,154					4,800	37,610	963,564
通信費	164,951	614,467			9,524		14,124	803,066
消耗品費	276,267	1,920,573		79,284	20,640	92,392	272,836	2,661,992
修繕費		1,254,697						1,254,697
保険料	10,200	103,360	101,800	20,600	11,330	7,210		254,500
委託料等		24,606,400						24,606,400
事務費	161,105	378,349	3,600	54,067	30,184		31,600	658,905
リース料	154,400	1,341,600						1,496,000
租税公課	27,000	87,000	4,200				2,500	120,700
新聞図書費	14,700							14,700
印刷製本費	259,122							259,122
車両費	248,518		777,363					1,025,881
支払報酬/報償費	100,000			172,786	110,000	38,810	120,000	541,596
事業費	318,642							318,642
負担金	15,000							15,000
減価償却費	0							0
小計	5,800,016	57,073,799	11,071,443	326,737	181,678	143,212	478,670	75,075,555
障連協へ		3,284,758		336,247	105,322	472,788	481,330	4,680,445
バス事業へ		2,371,443						2,371,443
支出の部合計	5,800,016	62,730,000	11,071,443	662,984	287,000	616,000	960,000	82,127,443

《営業外収益》

		管理運営事業		スポーツ関連委託事業			記念委託事業	
勘定科目/事業名	障害者連絡協議会	管理事務委託事業	バス運行補助事業	スポーツフェスタ	スポーツ教室	球技大会	障害者の日記	合　計
受取利息	584	0	0	0	0	0	0	584
雑収入	40,000							40,000
外収益の部合計	40,584	0	0	0	0	0	0	40,584

《差引損益計算》

前期余剰損益	5,704,296	0	0	-4,016	0	0	0	5,700,280
今期余剰損益	731,208	0	0	4,016	0	0	0	735,224
次期繰越合計	6,435,504	0	0	0	0	0	0	6,435,504

財　産　目　録

（2005/3/31現在）

銀行名	預金種類	預金種類	合計残高
北洋銀行旭川中央支店	定期預金	4384703	1,000,000
北洋銀行旭川中央支店	普通預金	4139655	10,991,321
北洋銀行大雪通支店	普通預金	3291688	1,000
北洋銀行大雪通支店	普通預金	3291718	1,000
手持ち現金	事務局保管		291,165
手持ち現金	受付用釣銭分	(受付にて保管)	50,000
合　　計			12,334,486

事業名／預金種類	定期預金	普通預金	現　　金	合　　計
障連協	1,000,000	7,167,223	291,165	8,458,388
管理事業	0	3,661,297	50,000	3,711,297
バス事業	0	164,801	0	164,801
スポーツフェスタ	0	0	0	0
スポーツ教室	0	0	0	0
球技大会	0	0	0	0
障害者週間	0	0	0	0
合　　計	1,000,000	10,993,321	341,165	12,334,486

資産及び負債残高	資　産			負　債
	未収入金	少額資産	特別準備金	未払金
障連協	12,019	766,965	2,771,068	150,800
管理事業	0	0	0	3,711,297
バス事業	0	0	0	164,801
合　　計	12,019	766,965	2,771,068	4,026,898

未払金内訳	障連協	管理事業	バス事業	合　　計
社会保険料	35,698	365,734	128,722	530,154
渡辺税理士	105,000			105,000
五東石油	2,809		36,079	38,888
北海事務機	7,293			7,293
日本タイプ事務器		105,840		105,840
和田商		94,500		94,500
ミナト医科学		4,725		4,725
富士組		525,000		525,000
旭陽電気		151,478		151,478
東洋設備		315,000		315,000
電気保安協会		32,760		32,760
東芝エレベータ		467,250		467,250
株)ニサカ		75,250		75,250
大江商店		1,276		1,276
寺岡ファシリティーズ		38,587		38,587
ホットハート		630		630
東和レジスター		21,000		21,000
環境衛生工業		1,415,400		1,415,400
富士ゼロックス		17,330		17,330
日本カルミック		44,887		44,887
氏家清掃		34,650		34,650
合　　計	150,800	3,711,297	164,801	4,026,898

◆ 第３号議案　会計監査報告書 ◆

会　計　監　査　報　告　書

平成１６年度、特定非営利活動法人旭川障害者連絡協議会の会計事務監査の結果、支出帳票、預金通帳及び関係書類等が、適正かつ正確に処理されていることを報告します。

平成１７年　４月１６日

監　事　伊田敏行

監　事　富田和信

◆ 第４号議案　平成１７年度活動方針（案）◆

◎事業活動方針（案）について

障害者の権利保障・福祉施策の充実強化に向けて市内障害者団体が協力して平成１４年に旭川障害者連絡協議会を結成して４年目を迎えます。

今後、障害者の福祉向上と市民の理解と連帯により地域福祉の充実強化につとめると共に、財政難による福祉の後退は絶対にないように協調してまいります。

また、障害者福祉センターの利用率も毎年高まりつつありますが、旭川市の貴重な福祉資源として、旭川市障害者福祉計画に沿い、市民との交流、健康増進、障害者雇用や作品展示などセンターの役割と視点にたって推進してまいります。

以下、具体的項目について当法人の事業活動といたします。

１．年間自主事業計画

１）情報コーナーの撤退にともない、利用者ニーズにあった情報コーナーの継続運営。
２）「障害者等支援相談室」の充実のため、相談員の専門家による研修会を定期的に行う。
３）専門家による相談支援センター等の充実を図る。

２．サービスを向上させるための方針について

１）法人役員の研修及び管理部門職員の接遇技術の研修。
２）水浴訓練室の監視員と情報交換、又利用者懇談会を定期的に行う。
３）利用者懇談会を２月中に行う。

３．地域活動、文化活動に関する情報の収集及び提供について

１）各障害者団体から寄せられるコンサート・映画会・講演会等の情報を「障連協にゅーす」で掲載。
２）２階体育館をより有効利用するため、現在以上に障害者スポーツの拡大。
３）「おぴった」内に市民や団体から寄せられる展示物・宣伝物を利用者へ情報提供。
４）地域住民とお祭り交流の実施。
５）障害者地域作業所の作品展示即売の継続化。
６）文化講座、文化教室の開催。

４．利用者ニーズ把握について

投書箱を用いて利用者の直接の意見を受けて、その内容を理事会等に図り改善を必要とする案件については順次解決を図る。

５．経理基準等について

会計専用プログラムで複式簿記による会計処理をし、年２回の当会監事による監査と顧問税理士による最終確認をした後、関係庁に決算書類を提出する。

６．防犯、防災について

○防犯対応　夜間、ジャパンメンテナンスにより引き続き機械警備を実施，日中、職員に管理マニュアルに基づき対応する。

○防災対策　防火管理者を中心に、当該センター消防計画書及び防火対象物点検を行い利用者の事故の無いよう事前訓練などをして対応する。

◆ 第５号議案　平成１７年収支予算（案）◆

平成１７年度特定非営利活動に係わる事業計画収支予算（案）　平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

科　目	17年度予算	備　考
Ⅰ収入金額		
1. 会費収入		
個人会員	51,000	@3,000×17
団体会員	75,000	@5,000×15
2. 事業収入		
指定管理運営委託事業	75,746,360	センター管理事務委託金
指定管理運営委託事業	8,313,000	センター利用料金
シャトルバス運行補助事業	10,785,600	シャトルバス事業補助金
障害者スポーツフェスタ委託事業	667,000	障害者スポーツフェスタ委託金
障害者スポーツ教室委託事業	287,000	障害者スポーツ教室委託金
障害者球技大会委託事業	616,000	障害者球技大会委託金
障害者週間記念委託事業	960,000	障害者週間委託金
3. 寄付金	50,000	
4. 交付金･助成金	300,000	特定求職者雇用開発助成金　他
5. 自販機収入	750,000	自動販売機手数料（道北飲料、コカコーラ、パシフイックペンディング、身障協会）
6. その他	180,000	コピー料、普通預金利息
7. 受取消費税　A	4,212,540	各委託事業･自販機収入･その他よりの消費税
8. 前年度繰越	6,435,504	
収 入 合 計	**109,429,004**	
Ⅱ支出金額		
1. 管理運営委託事業		
給　与（貸金含む）	18,001,200	管理職員、看護師、理学療法士
通勤手当	876,000	管理職員、看護師、理学療法士
賞　与	2,925,600	管理職員、看護師
燃料手当	740,000	管理職員、看護師
健康保健	894,691	管理職員、看護師
厚生年金	1,305,038	管理職員、看護師
雇用労災保険	314,524	管理職員、看護師
児童手当拠出金	17,298	管理職員、看護師
健康診断料	75,000	管理職員、看護師
消耗品	3,250,293	施設内消耗品、検査料、事務消耗品
修繕費	2,000,000	施設内外修繕費
委託料等	43,949,098	水浴訓練室他施設内点検委託、公共駐車場及び職員出入口除雪　他
管理事務経費	3, 15l, 798	管理事務経費一般、障連協分事務経費負担　他
通信費	876,480	電話料、NHK放送受信料、インターネット受信料　他
ﾘｰｽ料	2,393,800	ﾄｲﾚ防臭機、分煙機、レジスター、プリンター　他
仮払消費税　B	1,412,700	
小計	**82,183,520**	
2. シャトルバス運行補助事業		
給　与	7,392,000	運転手、介助員
通勤手当	386,400	運転手、介助員
賞　与	l, 068, 000	運転手、介助員
燃料手当	280,000	運転手、介助員
健康保健	385,731	運転手、介助員
厚生年金	562,646	運転手、介助員
雇用労災保険	132,634	運転手、介助員
児童手当拠出金	7,457	運転手、介助員
健康診断料	25,000	運転手、介助員
車検費用･任意保険	310,700	車検費用、車両任意保険
車両燃料費	420,000	バス燃料費
車両修繕費	169,032	バス修繕費
仮払消費税　B	39,886	
小計	**11,179,486**	

3. 障害者スポーツフェスタ委託事業		
事務費	442,500	事務手数料、通信費　他
報償費	134,500	スポーツ協会謝礼　他
消耗品	70,000	消耗品
災害保険料	20,000	参加者等損害保険料
仮払消費税　B	9,725	
小計	**676,725**	
4. 障害者スポーツ教室委託事業		
事務費	114,000	事務手数料、通信費　他
報償費	110,000	スポーツ協会謝礼　他
消耗品	30,000	消耗品
災害保険料	33,000	参加者等損害保険料
仮払消費税　B	1,500	
小計	**288.500**	
5. 障害者球技大会委託事業		
事務費	438,500	事務手数料、通信費　他
報償費	92,500	スポーツ協会謝礼　他
消耗品	70,000	消耗品
災害保険料	15,000	参加者等損害保険料
仮払消費税　B	7,625	
小計	**623,625**	
6. 障害者週間記念委託事業		
事務費	564,040	事務手数料、通信費　他
報償費	160,000	講師謝礼　他
消耗品	215,000	会場設営費、啓発用チラシ　他
旅費交通費	20,960	交通費
仮払消費税　B	13,458	
小計	**973,458**	
7. 学習会		
謝　礼	200,000	講師謝礼　他
旅　費	150,000	交通費
会場借上げ	50000	会場設営費　他
小計	**400,000**	
8. 一般管理費(障連協事務局)		
賃　金	3,056,880	事務局員、パート職員
法定福利費	295,274	事務局員、パート職員
健康診断料	25,000	事務局員、パート職員
旅費交通費	950,000	理事会、常務理事会、事務局長、各種委員会交通費補助
通信運搬費	165,000	電話料、郵送料
印刷製本費	280,000	機関誌発行代
車両費	290,000	事務局員車両借り上げ及びガソリン代
使用料(会議費)	110,000	会議用会場費　他
負担金	15,000	社)社会福祉協義会、NPOサポートセンター　他入会費
事業費	500,000	各事業費予算
事務費	200,000	事務消耗品　他
交際費	150,000	慶弔費　他
租税公課	130,000	印紙代
新聞図書費	22,000	福祉新聞購読料
リース料	463,200	事務用車両リース代
支払報酬	100,000	税理士事務手数料
予備費	3,617,736	活動予備費
仮払消費税　B	138,000	
小計	**10,508,090**	
支払消費税　A－B	**2,595,600**	**消費税納付予想分**
支　出　合　計	**109,429,004**	
当　期　残　高	**0**	

旭川市長表彰(自立更生援護功労者)
瀧田 幸明・水野 源光　両氏受賞

旭川視力障害者福祉協会会長　瀧田　幸明氏、副会長　水野　源光氏、両氏は昭和４９年、会の創立当初から役員として発展に大きく貢献し視覚障害者の自立更生に力を注いで来ました。其の間、先輩達が他界した後をしっかりと受け継ぎ、仲間を激励し、時には助け合って昨年創立３０周年の記念を祝って会員全員で一泊旅行を行い、時の過ぎるのも忘れて楽しい一夜を送ってきました。会の基本理念である「障害者の生活を守り高め、障害者に対する正しい認識と理解を深める活動」を健常者会員と共に協力して、更に発展させる事を誓い合いました。そして平成１７年４月２９日定時総会席上で表彰の栄に浴しました。関係者に改めて厚くお礼申し上げます。誠に有難度うご座居ました。

瀧田 幸明氏のプロフィール

大正１３年北海道紋別郡下湧別村芭露に生れる。日本国有鉄道北見電力区工手に採用になり、勤務して居りましたが昭和４７年急性緑内障を患い、身体障害者手帳の交付を受け北見市から旭川市に転入致しまして旭川盲人福祉協会へ入会しました（準会員）。其の後旭川視力障害者福祉協会の発足により、事務局次長に就任し日本国有鉄道を、一身上の都合により退職致しました。国立函館視力障害者福祉センターにて免許を取得し専業の訪問治療師業を現在地にて平成１５年まで行いました。

水野 源光氏のプロフィール

昭和７年北海道上川郡士別市上士別に生れる。
５歳の時目薬の事故により視力を失う。
旭川市立盲亜学校小学部
北海道立盲学校中学部
東北大学付属医学部宮城県立盲学校高等部本科卒業
あん摩マッサージ免許取得
東北大学付属医学部鍼灸科卒業
士別市で開業、其の後旭川市へ移転する。
㊐観光㈱に入社、マッサージ主任として勤務後旭川市内ワシントンホテルに平成１５年まで勤務した。

篠田 良雄氏　旭川市市長賞「更生援護功労賞」受賞

旭川リハビリ友の会顧問　篠田　良雄氏は、昭和５７年に脳卒中を発病し、半身不随の体にもかかわらず、通算１９年間の長い間、障害者団体連絡協議会「旭川リハビリ友の会」会長、「旭川障害者団体連絡協議会」会長、「ＮＰＯ法人障連協」常務理事等を歴任し、特に障害者福祉センター「おぴった」の設立に尽力し、障害者福祉のために努力増進し寄与してきた功績が認められ旭川市市長賞「更生援護功労賞」受賞しました。４月２４日に花月会館にて、祝賀会を行いました。

活動略歴

役職名	期間	年数
①旭川リハビリ友の会　会長	昭和６１年４月～平成１４年３月	（１６年）
②旭川社会福祉協議会評議員	平成　９年３月～平成１２年７月	（　５年）
③旭川障害者団体連絡協議会	平成　６年６月～平成１２年５月	（約６年）
④ＮＰＯ法人　障連協　理事	平成１４年９月～平成１６年５月	（　１年）
⑤　同　上　常務理事	平成１６年６月～現在	
		通算１９年

ＮＰＯ法人　旭川障害者連絡協議会

障連協 加盟団体の動き

◆ 財団法人北海道難病連旭川支部
支部長　工藤　フサ
旭川市5条通5丁目1690－1
TEL･FAX 24－7690

皆様には日頃より難病問題へのご理解とご支援を賜り心より感謝申し上げます。

私ども(財)北海道難病連は１９７３年（昭和４８年）の北海道難病団体連絡協議会の結成以来、難病患者と障害者の抱える問題は共通であると認識し、共に連携し、その問題を明らかにし、難病対策、障害者施策の充実を訴えることを目的として毎年「難病患者・障害者と家族の全道集会」を開催してまいりました。

私どもの今年度の第３２回難病患者・障害者と家族の全道集会を「最後まであきらめない！」をスローガンに野球が好きな人もそうでない人も、野球を見たことがある人も、初めての人も札幌ドームで心を一つにして、優勝を目指し戦い続ける北海道日本ハムファイターズを応援することによって、仲間とともにいることを身体で感じ、病気や障害を持っていてもみんな同じ道民として、豊かな人生を送ることができる社会をめざしていることを示したいと考えました。

私たちは難病患者とその家族だけで1,000席を埋めるのではなく、この機会により多くの障害者団体、福祉施設、医療機関、関係団体の皆様とともに取り組むことによってこそ、私どもの願いをより明確に示すことができると考えております。

最後まであきらめない！
難病患者・障害者といっしょに北海道日本ハムファイターズを応援する1000人集会

主催　財団法人　北海道難病連
名称　難病患者・障害者といっしょに北海道日本ハムファイターズを応援する1000人集会（略称“いっしょに日ハム”1000人集会）
日時　2005年８月６日（土）13:00プレーボール
会場　札幌ドーム
※リフト付バスにて送迎いたします
行き　12:00 北海道難病センター発札幌ドーム行、
帰り　15:30･16:00･16:30（30分おきに出発します）
札幌ドーム発（ﾚｾﾌﾟｼｮﾝ会場経由）
北海道難病センター行
片道　５００円
対戦ｶｰﾄﾞ　北海道日本ﾊﾑﾌｧｲﾀｰｽﾞ対西武ﾗｲｵﾝｽﾞ
動員目標　1,000名
参 加 費　内野指定席　4,100円（応援グッズ付）
アッパーシート 2,300円（　〃　）
※内野指定席・アッパーシートとも席を選ぶことはできません
※車椅子席を希望される方は3,000円（介助者１名分無料、応援グッズ付）
※連絡先　北海道難病連旭川支部まで電話かＦＡＸにてご連絡下さい。

◆ 旭川アカシア会
代 表　青木　利子
旭川市4条通21丁目左7号
TEL/FAX 32－7631

「第５回　障害者医療講演会」について

今年度も「赤い羽根共同募金」の受配事業として上記講演会が開催できることになりました。自分たちの障害をもっとよく知りたい、そのうえでこれから先、障害とどう向き合っていけばいいのかを学びたいと、勉強会を開いて今年で５回目になります。

昨年の「現代人のうつ病について」の講演会は身近に起こりうる病のひとつとして「うつ病」をとりあげました。講演会当日は４００名を越す参加者で関心の高さが伺えました。また回収されたアンケートでは引き続いて「うつ病」についての講演会開催を望む回答が最も多かったのですが、今回は次に要望の多かった「依存症」について取り組むことになりました。

開催要項は次ページのとおりです。

多くの方々の参加をたまわりたいとおもいます。

（企画部　藤中　洋子）

旭川アカシア会第５回障害者医療講演会企画

「現代人のギャンブル依存症について」

講　師：**田辺　等先生**（精神科医）
（北海道立精神保健福祉センター所長）
と　き／2005年11月20日（日）
14:00～16:00（13:30開場）
ところ／旭川市大雪クリスタルホール・大会議室
旭川市神楽３条７丁目
TEL 0166-69-2000
主　催／旭川アカシア会
後　援／旭川市・北海道上川保健所(上川保険福
(予定)　祉事務所保健福祉部)・旭川精神衛生協
会・旭川精神医学研究会・きょうされ
ん北海道支部・精神障害者の人権と福
祉旭川市民講座・NPO法人旭川障害者
連絡協議会
参加費／無　料
連絡先／旭川アカシア会
４条通２１丁目（青木 利子方）
TEL／FAX　0166-32-7631
※赤い羽根共同募金受配事業

◆ 旭川肢体不自由児者父母の会
会 長　平山　ひろ子
(自宅) 旭川市神楽岡9条4丁目6-10
TEL･FAX 65－3597/TEL･FAX 33－5940(おぴった)

平成１７年１０月８日（土）～同年１０月９日（日）の２日間にわたり第２５回全道肢体不自由児者福祉大会が旭川市障害者福祉センターにおいて、開催されます。全道父母の会会員、関係機関、団体及び福祉施設、養護学校の教職員、約３００名が参加する予定です。第１日目は、午後１２時よりアトラクション、午後２時、小菅正夫氏（旭川市旭山動物園園長）の特別講演、その後大会テーマ『生きがいの持てる社会参加と自立生活』についてコーディネーター山形積治氏（北海道教育大学名誉教授工学博士）を迎えてシンポジスト６名、五十嵐眞幸氏（父母の会会員）、永瀬充氏（パラリンピックアイスホッケー日本代表）、山田規美江氏（北海道肢体不自由養護学校長会会長）、北村典幸氏（社会福祉法人あかしあ労働福祉センター常務理事・総合施設長）、百瀬吉永氏（北海道労働局職業安定部職業対策課地方障害者雇用担当官）、長和彦氏（北海道旭川肢体不自由児総合療育センター院長）でシンポジウムを実施。第２日目は、午前９時３０分より内海敏江氏（北海道保健福祉部障害者保健福祉課支援費基盤グループ主幹）の「支援費制度の現状と課題について」の基調講演及び質疑応答等を予定しております。いつも障連協の皆様には、何かとお世話になっておりますが、当日は多数のご参加をよろしくお願い致します。

◆ 旭川リハビリ友の会
会 長　高津　　修
旭川市宮前通東4115番地30
TEL/FAX 34－6099

暖かい季節を迎え道内各地もイベントがあり、ご家族みんなで楽しい思い出を創って頂きたいと思います。昨年は、国内外共に、台風、地震、津波等が多くあり被災された方々に対してお見舞い申し上げます。当会も第３４回定期総会を４月１０日に開催してから、早３ヶ月が過ぎました。会と致しまして記念すべき年となり、障連協常務理事、当会顧問の篠田良雄氏が、旭川市「更生援護功労賞」を受賞されました。定期総会の日に、旭川市保健福祉部　長谷川優司課長より、表彰状と記念品が授与されました。当会の会長１６年間、障連協会長７年、理事、常務理事と現在にいたるわけですが通算１９年と長期にわたり、会のリーダーとして、又障害福祉のために、強硬な体力と気力を持って活躍されたことに、感銘いたしました。これからは自分のために時間を大いに使って頂きたいと思います。去る４月２４日花月会館にて、多くの出席者を迎えて祝賀会を開催いたしました。

平成１７年度の事業計画は、下記の通り決定致しました。

平成１７年度の事業計画

17年４月10日(日)　定期総会(おぴった内)
〃　５月18日(水)　お花見会(春光台)
〃　６月16日(木)　日帰り温泉(高砂温泉)
〃　７月14日(木)　日帰り温泉(中富良野町)
〃　８月５日(金)　ビールパーティー(旭川市内)
〃　９月14日(水)　野外ジンギスカン(当麻町)
〃　10月12日(水)　日帰り温泉(未定)
〃　11月10日(木)　日帰り温泉(沼田町)
〃　12月８日(木)　日帰り温泉(妹背牛町)
18年１月11日(水)　新年会(旭川市内)
〃　２月20日(月)　宿泊研修旅行(層雲峡)
～23日(水)　〃
18年３月16日(木)　健康相談(おぴった内)

今年度も仲間同志が、「助け合い、協力し合い、

気配り」をして楽しく会の運営に当たりたいと思います。特に日頃から、会員家族の方々には、行事を開催するたびに、ご理解とご協力を快くお引き受け頂き、幹部一同心から感謝いたしております。又　障連協様、おぴったの職員の皆様にはお世話になりますのでよろしくお願い申し上げます。

◆ 旭川車イスの会

代 表　田辺　邦夫
旭川市永山6条4丁目14番7号
TEL 48－0929

旭川車イスの会は、毎年会の各行事を行い会員・ボランティアと交流を深めております。今年も旭川車イスの会では、総会・交流会・ボッチャ大会・今年で２４回目を迎える道北圏車イススポーツ大会を開催し、１２月には忘年会などで１年を楽しもうと考えています。

平成１６年度活動報告

６月20日(日)
夏のレクレーション　カムイの杜
参加者　大人３３名　子供５名

11月７日(日)
道北圏・第２３回旭川車イスの会スポーツ大会
おぴった体育館で開催
会員・世話人・ボランティア・学生・一般市民、総勢８０名が参加し、今年は小学生も大会に参　加してくれました。皆さん車イスに乗ってスポーツで汗を流し、また車イスの扱い・介護の仕方　を教えてもらい「大変勉強になりました」と帰られました。

12月５日(日)
忘年会－お食事と喫茶「すず」さんにて会員・世話人など約２０名参加し大変盛り上がりました。

平成１７年度行事

５月15日(日)　総会・交流会
場所　フイットネス330

９月４日(日)　ボッチャ大会
障害者福祉センター「おぴった」体育館

11月６日(日)　車イススポーツ大会
障害者福祉センター「おぴった」体育館

12月４日(日)　忘年会
お食事と喫茶「すず」さん

今後も旭川市主催の旭川市障害者スポーツフェスタ・旭川市障害者球技大会・旭川市障害者の日記念行事に参加し、各団体の皆様との交流を深め大切にし有意義な活動をして行きたいと思っています。

◆ 旭川盲人福祉協会

会　長　村瀬　稔幸
旭川市宮前通東4155番地30
TEL･FAX 34-6099

本会の目的は自立更生・福祉向上を主とし、会員の親睦と相互扶助を運動方針としております。平成17年４月１日現在、会員数１３５名を持って構成されています。

活動計画（協会活動事業）

１．組織強化の推進
２．点字市民権運動の推進
３．支援費制度等の充実
４．介護保険制度等に関する研修会の開催
５．公共交通機関への要望運動
　（１）バス停留所での音声による案内
　（２）重度障害者のバス料金無料化
　（３）重度障害者のハイヤー特別割り引券の枚数の増加
６．在宅障害者のディサービス事業の確立
７．高齢者福祉治療制度の充実
８．旭川市主催の障害者社会参加訓練事業に積極参加
９．共同募金会からの助成により広報機関誌の発行
10．各種文化講演会・懇談会の実施
11．税の申告代書業務の処理
12．その他必要な活動

各部の活動計画

（文化部）

１．施設見学レクリエーションの実施（６月予定）厚生部と共催
２．養護・盲・老人ホーム（旭光園）慰問（９月予定）
３．文化講演及び文化祭の実施（11月予定）
４．障害者の日記念事業へ参加

（厚生部）

１．施設見学レクリエーションの実施（文化部と共催・６月予定）
２．高齢者（会員８０歳以上）に対し祝金の給付（９月予定）
３．忘年会の開催実施（12月予定）
４．冠婚葬祭、見舞金等の給付

（保健体育部）
１．北海道障害者スポーツ大会（夏期・冬季各大会）参加（７月・２月予定）
２．北海道視覚障害者球技大会に参加（10月予定）
３．旭川市主催スポーツフェスタ・卓球大会に参加（７月・11月予定）
４．盲協会主催ボーリング大会・ゲートボール大会・ボッチャー大会等実施予定

（社会活動部）
１．旭川市民ボランティア会議、社協ボランティア会議等の各種事業に参加
２．旭川身障協主催研修、レクリエーションに参加
３．その他、他団体との交流を図る

（広報部）
１．盲協便り（機関誌）の発行（年11回）
２．障害者必須情報の収集

（生活環境部）
１．走行安全確保のための活動
　（１）誘導点字ブロックの敷設
　（２）音響付信号機の新設
２．社会参加並びに各バリアの除去、改善

（女性協部会）
１．道視連女性協研修会及び定期総会に参加（４月予定）
２．籐編み教室、料理教室の開催実施

（共済部）
会員の相互扶助
（１）冠婚葬祭
（２）病気見舞い等の給付

平成１７年役員名簿

本年４月10日、役員任期満了に伴い改選が行われたので記述します。

会　　長：村瀬 稔幸（留任）
副 会 長：水野 勝明（留任）
副 会 長：池田 康男（昇格）生活環境部長兼務
事務局長：加藤 弘（留任）
会計・共済会計：木崎 スワ子（留任）
文化部長：三浦 秀人（留任）
厚生部長：前田 良則（留任）
保健体育部長：工藤 眞由美（再任）
社会活動部長：芳賀 智恵子（再任）
広報部長：棟方 勲（留任）
生活環境部長：副部長・池田 康男　兼務（留任）
女性協部会長：平瀬 涼子（新任）
監　　事：野口 修二（留任）
監　　事：由井 敏通（留任）

以上

◆ 旭川精神障害者家族連合会
会 長　岩田　淳
旭川市神楽2条4丁目1-12ななかまど共同作業所
ＴＥＬ 63－2331

平成１７年度事業計画

１．毎月家族交流会の開催
例会と称していましたが、家族の悩みなど語り合い、支え合う場として参加しやすいようにと、名称を変更して原則毎月第３水曜日午後１時30分から、「おぴった」会議室を用意しています。
２．家族研究会の開催
毎年続けて開催していますが、今年度も８月と来年２月に「おぴった」会議室での開催を予定しています。８月は障害者福祉制度の大幅な改革の内容を取り上げる計画です。
３．関係家族大会の参加
毎年開催される北海道精神障害者家族大会（10月16日帯広市）及び、道北大会（９月３日名寄市）には、旭川市は福祉バスを利用して参加します。
４．機関誌の発行
「旭家連だより」を発行して研修会の内容や家族の声、その他お知らせなどを登録して10月に発行の予定です。
５．一般相談日の開設（NPO法人障連協主催）
「おぴった」　１階にて
毎月第１・第３水曜日10：00～15：00
障害者等支援相談　精神担当
６．関係共同作業所通所者の合同行事を実施します。

◆ 旭川市地域共同作業所連絡協議会
会 長　荒川　繁雄
旭川市8条通18丁目右3号
ＴＥＬ 45－0700

平成１７年度の定期総会において、新役員が選出されました。稲垣前会長はじめ役員を務められた皆さんには、協議会の運営のためにご尽力いただいたこと、感謝を申し上げます。総会では、平成１７年度の事業計画として、各行事や作業所の交流・親睦の事業などを決定しましたので、会員皆さんのご協力を得ながら実施していきたいと考えています。現在、国会で審議中の障害者自立支援法案については、多くの皆さんが応益負担に反対する考えと、これからの小規模作業所の運営に大きな不安を持っておられると思いますが、この法案の内容や、国会審議の報道などを考えますと、

障害者が安心して毎日を過ごすことができる地域社会を実現するために、私たち自身が障害者の日常生活の現状をより多くの市民の皆さんに知っていただけるよう、努めなければならないと考えています。私たちの団体が加盟している障連協は、「おぴった」の運営や各種行事を積極的に展開しています。高齢化社会などによって、障害者団体の運営も難しさを増していますが、健常者と障害者が理解し合うやさしいまちづくりのために、これまで以上に皆さんと協力していくことが肝要であると思っております。又、各作業所の職員の皆さんのご協力によって、元気のでる作業所つくりのために、皆さんと意見交換などを進めていきたいと考えています。当面の行事として、

６月29日~7月4日　リバータウンバザール(丸井今井)
７月１２日　夏期親睦会（場所未定）
７月３１日　障害者スポーツフェスタ
（大雪アリーナ）

７月１２日には、利用者の皆さんと職員による夏期親睦会も予定されています。楽しい一日を過ごしていただきたいと思っています。

ごあいさつ

平成１７年度の定期総会において、新役員として選出されました。退任された稲垣前会長はじめ役員を務められた皆さんには、協議会の運営のためにご尽力いただいたこと、感謝を申し上げます。総会では、平成１７年度の事業計画として、作業所の交流・親睦や事業と行事などを決定しましたので、会員皆さんのご協力をお願いしながら進めていきたいと考えています。

荒川　繁雄

◆ 旭川身体障害者肢体福祉協会

会 長　川尻　朝雄
旭川市宮前通東4115番地30
TEL/FAX 34－6099

当会は、（社）旭川身体障害者福祉協会に所属し、会員約４３０名（身障者手帳所持者及び賛助会員）で構成されています。会長は、旭川盲人福祉協会会長とともに同協会の副会長に就任し、会長を補佐し協会の運営に当たるとともに障連協及び市主催の事業や行事にも、会員が積極的に参加協力するよう努めています。

また、肢体協会独自の主な行事としては、４月に定期総会、６月に施設見学研修会員交流旅行、１０月に市民参加の「ふれあい広場」、１２月に会員交流会を計画しています。市内には当協会の下部組織として、９地区に分会があり各自行事を企画実行していて、会員同士が楽しく交流を深めています。

なかでも、毎年１０月に実施している「ふれあい広場」事業は、身体障害者と市民が共生していく地域社会作りを目的として、市及び社会福祉協議会の後援のもとに実施しています。

事業内容は、市民参加の歌謡ショー、参加者全員によるふれあい盆踊り、お楽しみ抽選会のほか障害者問題相談会、共同作業所作品展示即売会、福祉機器・介護用品の展示及び車椅子体験試乗会等の市民が親しみの持てるよう計画し実施いたしました。お陰様で昨年は予想を上回る２００名近い多数の方達の参加をいただき盛大に終了できました。皆様方のご協力に心より感謝申し上げる次第でございます。

◆ 旭川中途難失聴者協会

会 長　大江　登美子
旭川市錦町18丁目
TEL/FAX 51－8937

長引く不況の中、中失協会の運営も多難でありましたが、役員、会員の団結力で乗り越え、無事に平成１７年度の総会を終わることができましたことを感謝致します。

今年度の主な事業は、第一に聞こえの保障です。毎年実施しております。「市民要約筆記を学ぶ会」を、平成１７年、５月３１日に開講しました。

毎週第３火曜日の「昼の部」と「夜の部」を各１５回行います。

厚生労働省より全国に通達されましたカリキュラムの指示に従い、第一日目は「聴覚障害者の基礎知識・歴史と現状」の実情を講演しました。

全国難聴者・中途失聴者団体連合会の方針で、難聴者講師と協力員講師がペアで組み、難聴者講師には要約筆記者をつけて３者で指導します。

学習内容は、略語と略号を正しく覚えてもらい【例：カリキュラム→カリ】

要約文については、話し言葉を聞きながら不要の言葉を省き、大事な事柄を落とさないようにまとめ、最後まで書いて文を完結する作業です。

こうして受講生に、１５日間も及ぶ講座をしっかり学んでいただき、一人でも多く要約筆記者の養成に協力し頑張っております。

旭川中途難失聴者協会　会長　大江登美子
旭川市錦町１８丁目（FAX)51-8937

常任理事会の各部会活動報告

総　務　部

担当常任理事
平山　ひろ子

１．清掃従事者の休憩室について
現在、清掃従事者の方々の休憩室がないため、印刷室の空きスペースを使っていただいておりますが、何かと不便をおかけしております。今後の障連協の事業計画に休憩室の増設を反映していきます。

２．「おぴった」付近には、国や市の公共施設が新設されていますが、障害者雇用の促進につながっているのでしょうか。今後の調査・要望となってきます。

（平山ひろこ・高橋正巳）

事　業　部

担当常任理事
佐藤　忠公

平成１７年度事業部の活動について

障連協の１７年度総会も無事に終了し、新年度の事業が始まりました。

今年度から新たに始まった、旭川市が管理運営する公共施設の指定管理制度に沿って、私たち障連協も旭川市の指定管理業者となり、あらためて管理運営を行うことになりました。

また障連協は、本来ＮＰＯ法人として独自に障害者の地位向上を目指した自主事業を行って行きたいと考えていましたが、これまでは旭川市の委託業務実施が精一杯の状態でした。

徐々に事業にもなれてきたところで、今年度は手始めとして「おぴった祭り」を開催し、地域住民と障害者の交流と理解を深める催しを行うことになりました。現在事業部を中心に事業内容を詰めていますが、事業の成否は如何に多くの方々に参加していただけるかにかかっています。今後内容が決まり次第、随時ご案内を致しますので是非多数の方のご参加に向けてご協力をお願いいたします。（佐藤忠公）

文　化　部

担当常任理事
鈴木　勲

文化部からの報告

障連協文化部会の会議は６月７日午後１時半「おぴった」相談室で行いました。先月の障連協総会が無事に終え新たにスタートした、文化部の担当を紹介します。事務局工藤はじめ、鈴木理事、稲垣理事、大橋理事です。新しいメンバーが多く不慣れなところがありますが、宜しくお願いします。会議の結果を報告いたします。

１．文化講座・文化教室の開催について

■健康向上のために

①「医療とヘルシークッキングをセットした文化教室」カリキュラム作成。医師・栄養士については、現在、道北勤労者医療協会に依頼済みで後日相談し実施する。

■クラブ活動のために

①「陶芸教室」については、おぴった２階の陶芸室の窯でどのような物を作れるか確認する必要。陶芸の先生に窯を確認して頂き、製作出来る物の教室を開く。

②「七宝焼教室」の計画もする。

２．その他

今、政府が国会に提案中の「障害者自立支援法案」に私たち障害者はじめ、関係団体に不安や反発が広がっています。障害者自立支援法案を利用したサービスの量や所得に応じた「公平な負担」を掲げ、負担の導入を目指しています。このため、緊急旭川集会を開き、「応益負担」撤回運動を盛り上げます。

と　き：７月１４日（木）PM 13:30～15:00
ところ：旭川障害者福祉センターおぴった
参加費：無料
内　容：（予定）①基調報告「国会での法案審議動向」②各障害者団体・施設等の訴え ③旭川市保健福祉部から④アピール採択
主　催：応益負担に反対する旭川連絡会
ＮＰＯ法人旭川障害者連絡協議会

スポーツ部

担当常任理事
田辺　邦夫

障害者スポーツフェスタ開催のお知らせ

平成１７年７月３１日（日）大雪アリーナで障害者スポーツフェスタが開催されます。このフェスタは、ＮＰＯ法人旭川障害者連絡協議会が旭川市から委託を受け実施するもので、年１回の障害者の運動会といえます。毎年たくさんの障害者がフェスタに参加していますが、それを支えるために、多くの旭川障害者スポーツ協会の方々、学生ボランティア方々の協力をいただいています。

フェスタの内容等は次のとおりですので、競技参加だけでなく応援の方々の参加もお待ちしています。

○開催日：平成17年７月31日(日)　9:30～15:00
○場　所：神楽４条７丁目　旭川市大雪アリーナ
○競技種目：つな引き、フライングディスク、ビーンバック投げ、ゲートリレーほか
○昼休みにアトラクションも予定しています。
○詳しくは、ＮＰＯ法人旭川障害者連絡協議会までお問い合わせください。

障連協専門部会

５月６日の理事会においての確認事項で、各理事がそれぞれの分野において専門的に企画・活動をし、積極的に事業を展開するため、各部会を再構築しました。

障連協専門部会構成員名簿
（2005/05/12）

【総務部】
部　長　平山 ひろ子
副部長　高橋　正巳（労務人事担当）
【事業部】
部　長　佐藤 忠公
副部長　村瀬　稔幸　川尻　朝雄
部会員　飯島　一男　黒田　時江
三浦　美恵子
【文化部】
部　長　鈴木 勲
副部長　稲垣　則子 大橋　美智子
【スポーツ部】
部　長　田辺 邦夫　惣伊田 敏行（代行）
副部長　富田　和信
部会員　深田　清三
【広報部】
部　長　篠田　良雄
副部長　石川　清詞
部会員　川村　和恵

広報部

担当常任理事
篠田　良雄

『障連協にゅーす』の４号で、日本パラリアンズ協会会長 永瀬　充氏に、“特別寄稿”を戴きました。長野とソルトレーク市で開催されたパラリンピックでアイススレッジホッケーの競技者の一人として、生々しい世界最高の舞台である『パラリンピック』を紹介してくれました。私は、こんな身近にスポーツで、最大の大舞台を目指す仲間がいるとは知りませんでした。この次の冬のパラリンピックは、２００６年３月にイタリアの『トリノ』で開催されますが『今度こそ旭川にメダルを持って帰りたい』と話す、日本の“永瀬”チームに絶大なエールを送りたい。

☆トリノパラリンピックに向けて……

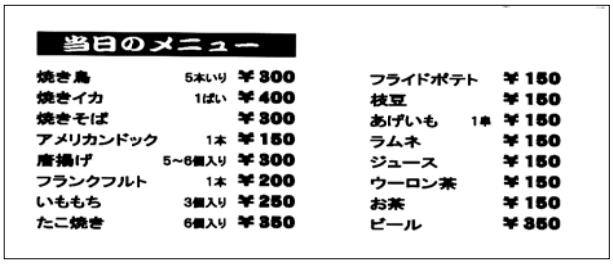
平成１７年１１月１８日から２０日までの３週間、アイススレッジホッケー全日本代表チームの合宿が旭川市大雪アリーナで開催されます。世界で競い合う選手たちを見ることができる素晴らしい機会ですので、ぜひご観覧ください。そして、旭川からパラリンピックを応援しましょう。

第１回おぴったまつり開催

○日　時：８月10日(水)11:00～19:00(雨天決行)
○場　所：おぴった広場（駐車場公園）

○演芸･アトラクション
カラオケ・大道芸・ヨサコイソーラン・太鼓・婦人舞踊・消防音楽隊・ミニSL他
○展示販売
市内共同作業所・福祉施設の製品
やきとり･焼きそば･唐揚げ･ジュース･ビール

※引換券をご購入の上ご利用下さい。



当日のメニュー

焼き鳥	5本いり	￥300	フライドポテト		￥150
焼きイカ	1はい	￥400	枝豆		￥150
焼きそば		￥300	あげいも	1串	￥150
アメリカンドック	1本	￥150	ラムネ		￥150
唐揚げ	5～6個入り	￥300	ジュース		￥150
フランクフルト	1本	￥200	ウーロン茶		￥150
いももち	3個入り	￥250	お茶		￥150
たこ焼き	6個入り	￥350	ビール		￥350

作業所巡り

“働く事の喜びを感じて”－ 旭川市内には現在２８ヶ所の地域共同作業所が運営されており、障害のある方々の権利と発達、地域生活を支援していますが、今回３ヶ所の作業所での活き活きとした姿を取材しました。

障害者地域共同作業所「豊岡共同作業所」をたずねて

取材担当　石川・篠田

外見は平屋の一軒家ですが中に入ると正面は広い作業場になっていて、表と裏に採光の広い大きな窓が幾つも付いているのです。更に天井の色が白で、見るからに明るく清潔な感じが致しました。

指導員の瀬戸美津子さんの話

最近は年々単純な仕事が少なくなり、悩みです。

担当（石川・篠田）

～～～～～～～～～～～～

『豊岡共同作業所』の紹介

主任指導員　小林　義彦 氏

旭川手をつなぐ育成会の「豊岡共同作業所」は、平成元年４月に設置された作業所で、現在、知的障害者９名、身体障害者１名の利用者が通所し、非常勤の所長のほか４名の職員体制で運営しています。日常の作業は、箱折り、ティッシュ詰め、チラシ折りなどの請負作業が主ですが、仕事を確保することが年々厳しくなっているのが悩みの一つです。それでも、保護者を中心とするボランティアの皆さんのお手伝いによって、手芸品や石鹸作りなども経験しながら、明るい雰囲気で毎日を過ごしています。５月２０日、旭山公園でお花見をしました。今年は気温の低い日が続いたせいか桜の花はまだ６分咲くらいでしたが、久しぶりの晴天に誘われて、動物園見学の生徒たちやお花見の人で、とても賑わっていました。障害者自立支援法案が審議されていますが、定率負担やこれからの共同作業所の運営がどうなるのか、不安を感じています。障害者の皆さんが笑顔で日々を送ることができるように、小規模作業所利用者の賃金実態などに目を向けた、温かい施策をお願いしたいと思っています。毎年７月末には育成会全道大会（今年は滝川市）が開催されますが、年々「本人部会」の出席者が増えています。私たちの育成会作業所からも本人７人と職員４人が参加します。大勢の仲間と再会できることを、今から楽しみにしています。

「豊岡共同作業所」
旭川市豊岡１１条５丁目
電話・ＦＡＸ (0166)３２－６３６６

障害者地域共同作業所「双葉作業所」をたずねて

取材担当　青木・川村

おじゃましまーす。障連協広報部です。今回は双葉作業所におじゃましました。午後からの作業が始まっていました。今日は委託された作業着の糸切り、ボタン付けの仕上げの仕事でした。１２人の皆さんが黙々と仕事をしていましたが、何かほのぼのとした雰囲気をただよわせた作業風景でした。双葉作業所は平成１１年４月１４日に創立しました。伊藤千枝子代表の夫が脳梗塞により、障害者になってしまいました。共同作業所に通所

していましたが「同じ病院の仲間同士で、作業したり、おしゃべりしたい！」の声で代表の自宅を開放し、進藤病院のふじの会とリハビリ友の会の会員が参加して発足しました。仕事の内容としてはパッチワークを中心に袋物、飾り物などの作成、内職作業（折込チラシ、リフォーム）もしていますが年々仕事が減ってきている、販売などでも売り上げが伸びないなど運営はきびしくなってきている。とのことでした。

「双葉作業所」
旭川市３条通１７丁目右５号
電話(0166)２３－９０２５

障害者地域共同作業所
「バリアフリー」をたずねて
取材担当　青木・川村

きょうは共同作業所バリアフリー・あめんどうにおじゃましました。玄関に入ったとたんに山積みにされた箱などがドーンと目に入り、オー仕事場だー！という印象でした。床面積は広そうなのに床いっぱいに折る前の箱や出来上がった箱がダンボールに入れられ、重ねられて出荷？をまっていました。納期がせまっているとかで皆さんせっせと作業に励んでいました。昇降機もつけてある幅広い階段を上がった２階では委託されたマスクの仕上げとかゼリーの包装などの仕事をしていました。夏になると２階は風通しが悪くて暑いんですよとのことでした。

平成６年１１月３日に平和通り買い物公園にて「福祉の店そよ風」を出店し、平成７年４月１０日に共同作業所バリアフリー・あめんどうを開所しました。仕事としてはダンボールのカス取り・製函、折り箱の製函、店舗のチラシ折り、贈答品の包装・タオルの袋詰めなどをおこなっています。企業への出向、スタルヒン球場、旭川競馬場への売店出店もあり社会復帰への足がかりにしています。生活していける工賃を保障したいと頑張っているバリアフリー・あめんどうでした。

「バリアフリー」
旭川市８条通１８丁目９４番地９
電話(0166)４５－０７００

おぴったまつりのポスターに使用されている絵の作者は「バリアフリー」作業所を利用している**引地康夫**さんです。

☆引地さんにお話を聞きました。

２００４年第４回こころの美術展で銅賞を受賞した作品です。アクリル絵の具と一部油絵の具で描きました。

好きなミュージシャンの音楽を聴いていて、その詞に今までの自分の人生を重ね合わせて考えていたら、豚のイメージが出てきたんです。一生懸命生きるぞ！という想いを表現したかったんです。とのことでした。

なお、今年も出展しました。一次審査を通ったそうです。

（川村）

「障害者自立支援法案」と「障害者雇用促進法改正法案」について

「障害者福祉ミーティングｉｎ札幌」

開催要項

平成１７年５月吉日
党改革実行本部
組織本部　団体総局
校正関係団体委員会

趣旨
　党改革実行本部及び組織本部は、北海道内障害者関係者との交流を推進し、今日の障害者抱える諸問題について理解を深め、障害者福祉関係者の方々のご意見を真摯に受け止め、それを党や政府の政策に反映させ、改革を推進していきたい所存であります。そのため、下記の通り「障害者福祉タウンミーティングｉｎ札幌」を開催します。

記

１．主　催　自由民主党　党改革実行本部　組織本部　団体総局　厚生関係団体委員会
２．共　催　自由民主党北海道支部連合会
３．名　称　「障害者福祉タウンミーティングｉｎ札幌」
４．テーマ　「障害者自立支援法」「障害者雇用促進法改正案」等についての要望事項等概要説明及び要望聴取
　八 代 栄 太　衆議院委員（党障害者問題特別委員長）
　北 村 直 人　衆議院委員（党組織本部団体総局長）
　塩 崎 恭 久　衆議院委員（党改革実行本部事務局長）
　田 村 憲 久　衆議院委員（党厚生労働部会長）
５．開催日　平成１７年５月３０日（月）　午後１時～４時
６．呼掛先　北海道身体障害者福祉協会　日本患者・家族団体協議会（ＪＰＣ）
　札幌市身体障害者福祉協会　全国精神障害者家族連合会
　全国脊髄損傷者連合会　日本障害者協議会
　全日本手をつなぐ育成会　日本身体障害者団体連合会
　全国肢体不自由児・者父母の会連合会　日本自閉症協会
　等、全ての障害者団体の道・札幌支部等
７．会　場　札幌パークホテル　パークホール（３階）住所：札幌市中央区南１０条３丁目（代表：011－511－3131）
８．参加費　無　料
９．問合先　自由民主党本部　（代表：03－3581－6211　ＦＡＸ：03-3503-7040）
　党改革実行本部　組織本部団体総局厚生関係団体委員会　渡辺（内線：５４２３）
　自由民主党北海道支部連合会　（代表：011-241-5941　ＦＡＸ：011-221-7705）　小林・柳田

「障害者福祉タウンミーティングｉｎ札幌」集会について

　この集会は上記の要網にて開催されました。当日は「障連協」と５月２０日に結成された「応益負担に反対する旭川連絡会」のメンバー合わせて２５名がマイクロバスに同乗し参加しました。
　この「タウンミーティング」の開催地は札幌のほか福岡・仙台・東京・岡山などの８都市で、障害者の自立をテーマに開かれており、「障害者自立支援法案」と「障害者雇用促進法改正法案」について広く対話をとおして“なんでもいいから意見を聞かせてもらい”、“自民党の改革につなげたい”という趣旨説明でした。自民党障害者特別委員会長の八代英太議員の法案説明では、「障害者雇用促進法」については精神障害者に対する雇用対策の強化と在宅就業障害者に対する支援の二点の説明にとどまり、「障害者自立支援法」に主な重点がおかれていました。質疑応答は１時間半の設定で－「認知症の高齢者のグループホームに有限・株式会社は参入できるのか」「応益負担の同一世帯への影響（成人が親へ負担させるのは過酷）」「知的障害者と高齢者の居宅サービス支給量の違いと問題」「雇用率未達成企業の雇用調整金の見直しについて」「難病・特定疾患人々のポイント算定について」「応益負担導入に反対、所得保障の確立（障害基礎年金の増額）」「精神障害者の医療費公費負担増額による重度障害者の負担額について」「応益負担導入の廃止について等」など、網走・稚内・斜里町など全道から参加された１３人の方が発言されました。そのうち４人は旭川からの参加者でした。
　それらを受けて八代議員は応益（定率）負担については「タダということにはならない」「一割を

0.5か0.3にする予定がある」「あとは消費税の増税分でまかなう」と回答した。帰路マイクロバスの中で参加者全員によるこの集会の感想や意見が出されましたが、「障害者自立支援法案」の応益負担の導入は障害者の自立を促進するものではなく、むしろ障害者福祉を大きく後退させる非常に危険な内容であることが確認された集会であったようです。冒頭出席団体代表者の挨拶で札幌市身体障害者福祉協会会長の神田直也氏が「なぜ今応益負担なのか、なぜいままでの応能負担ではないのか」と述べられていましたが、多くの出席者の思いの代弁だったのではないでしょうか。

自立支援法案審議のスケジュールが大幅に変更

社会福祉法人あかしあ労働福祉センター常務理事
応益負担に反対する旭川連絡会事務局
北　村　典　幸

郵政民営化に関する特別委員会の設置をめぐって混乱気味の国会でしたが、６月２日の衆議院予算委員会の開催をもって正常化されました。これに伴い、私たちにとっての目下の焦点である障害者自立支援法案の審議についても、衆議院厚生労働委員会において再開されることとなりました。すでに長時間の審議を経た同法案ですが、審議すればするほど、内容面での疑問点や問題点が露わになっています。

同法案についての今後の審議日程は、６月７日の参考人招致を経て、障害者自立支援法案関連法のうち障害者雇用促進法改正案だけは切り離して採決、６月１０日及び１５日の厚生労働委員会では、労働安全衛生法など別法案を審議・採決、６月１７日以降の自立支援法案の審議は不明、また６月３日に開かれた理事懇談会では、おおよそ次のような日程で与野党間の合意をみたようです。改めて６月８日に理事懇談会を開いて方向付けがされます。

以上の予想日程に、関連情報を加えると、７月３日（日）の都議会議員選挙投票日までは審議が中断ということになりそうです。選挙前の衆議院での採決は与党にとっては決して有利ではない、という判断の様子です。こうしたスケジュール案の前提は、国会の大幅な延長ということになります。今１６２回通常国会は６月１９日（日）が会期末となっていますが、これを５０日前後伸ばそうというのが現実的な案として浮上しているそうです（８月１０日過ぎまで）。そうすると、都議選後に再開する法案審議は、衆議院厚生労働委員会である程度時間をとることができ、かつ参議院に回っても日程的には問題がないと与党は読んでいるのらしいのです。

障害者自立支援法案と雇用促進法改正案とを分離して扱うということの評価ですが、ふたつの見方があります。ひとつは、分離することで自立支援法案の行方がいっそう混迷になるというものです。今ひとつは、選挙が終わってしまえば、与党として強硬な姿勢で審議に臨めるに、という見方です。なかなか読みづらいところですが、残念ながら後者の見方が妥当のようです。審議中断の間、政府、政党、民間団体、これらの間で激しいやりとりが繰り広げられることになりそうです。

私たちが最も問題視している「応益負担制度の導入」について、以上の予想日程を念頭に置きながら改めて撤回運働の体制を強めていく必要があります。審議中断ということで、多少間延びするような気がしますが。ここのところは、とにかく緊張感を保つことが肝要です。

東京都議会選挙を挟んで７月上旬に衆議院での採択が予想される障害者自立支援法案ですが、本稿が人目につく頃には、さらに状況がが大きく変化しているはずです。旭川においても、残り１ヶ月ではありますが、決して譲ることができない応益負担問題について、関係団体が一致して団結する必要があります。

これでいいのか？　障害者自立支援法

7.14

ー応益負担の撤回を求める！ー　2005年7月14日

“緊急旭川集会”開かれる!!

これでいいのか？　障害者自立支援法
応益負担の撤回を求める緊急旭川集会

主催　ＮＰＯ法人旭川障害者連絡協議会
応益負担に反対する旭川連絡会

本集会は７月１３日の衆院厚生労働委員会の法案可決と１５日の本会議採決という渦中の中で開催され、６２０名を超える参加者の熱気であふれました。障害のある当事者・家族・施設・労組それぞれの立場から下記のようなたくさんの発言があり、また旭川市や旭川市議会・市議会議員・道議会議員・国会議員（メッセージ）の方々も多数かけつけられました。最後に集会アピールを採択し国の審議動向にあわせて引き続き運動することを確認しました。

各障害者団体・施設・本人等からの訴え

○「この法案の提出の仕方は唐突、当事者・関係者の合意なしにでてきた。障害者の生活実態を踏まえていない。入所者に今後いくらかかるのかと毎日きかれる。この法案は総体的に判断して天下の悪法の最たるもの。わたしたちは言うべきことは言い、駄目なことはダメだとはっきりしていこう。」

○「わたしは統合失調症ですが、このまま法案が通ったら生活はいよいよ苦しく厳しくなります。公費医療費負担が一割になるときいて既に通院や薬を減らしている人がでてきています。わたしたち障害者はだれもこの法案の成立をのぞんでいません。」

○「障害基礎年金と特別障害者手当とわずかな作業所の工賃の中から、アパート家賃を払って生活していますが今でも生活はギリギリです。ホームヘルプサービスは私たちの生活を支える大切なもの、応益負担が導入されると聞いて私は真っ暗なトンネルの中に入ってしまいました。障害者から光を奪わないでください。応益負担に断固反対です。」

○「わたしは昨年結婚して毎日がんばって生活しています。わたしたちの生活が苦しくなるこんな冷たい法律は許せません。皆さんと一緒にがんばりたいと思います。」

○「不況になるとわたしたち障害者は理由を告げられずリストラされました。生活が厳しいというと生活保護うけたらとすすめられますが、障害者には生活のための選択肢が少ない中で、安易にその話が出るのは過酷に感じます。この法案は自立支援ではなく自滅支援です。」

『怒りを込めて』現況を発表する代表者

『応益負担撤回』を強く求める参加者

スクラップ

■2005.7.15（金）北海道新聞

←
620人が参加し「応益負担」撤回を訴えた緊急旭川集会

障害者自立支援法案

「応益負担」生きていけぬ

旭川で緊急集会 600人余りが撤回訴え

障害者自立支援法案が十三日、衆院厚生労働委員会で可決されたが、同法案の柱となる福祉サービス利用料の原則一割負担（応益負担）導入の撤回を求め、障害者と家族、施設職員ら六百人以上が十四日、旭川市障害者福祉センター「おぴった」で緊急旭川集会を開いた。参加者は「『応益負担』は自立でなく『自滅』への支援だ。あきらめずに反対の声を上げよう」などと訴えた。

（高尾晋）

旭川市内の共同作業所、施設、団体などが五月に結成した「応益負担に反対する旭川連絡会」と「旭川障害者連絡協議会」が主催した。同法案の可決直後だけに、予想の五百人を上回る六百二十人が集合。会場は危機感を抱く障害者らの熱気に包まれた。

集会では身体、知的、精神障害者、難病患者、施設長らが意見を発表。市内のアパートで一人暮らしをする車いすの女性は「私は手足も不自由で言語障害もあり、働きたくても働けない。『応益負担』が導入されたら、重度の障害がある人は生きていけない」などと訴えた。

最後にアピールを採択。「応益負担」を実施する前に、しっかりとした所得保障制度を確立することや、もっと時間をかけて障害者や関係者の意見に耳を傾けることなどを求めた。

NPO法人障害者連絡協議会 峰木光春理事長の挨拶

『おぴった』に６００人を超えた緊急集会

ブックを読む

■2005.5.23(月)
福祉新聞

自立支援法案

障害8団体が初の意見陳述

衆院厚労委

問題山積、修正強く要望

議員も「当事者の声」後押し

国会で審議中の障害者自立支援法案は、十三日の衆議院厚生労働委員会でも厳しい追及が続いた。障害者団体が大規模なフォーラムとデモ行進を前日に行ったことから、各議員がその訴えを取り上げた。また十七日の質疑では、参考人として障害者八団体の意見陳述が初めて実現。両日とも話題は「応益負担に疑問」にとどまらず、医療費の負担増や就労支援策の遅れなど多くの問題に及んだ。

「利用者負担は本人に限定を」

十七日の衆議院厚生労働委員会で意見陳述したのは、日本身体障害者団体連合会、日本盲人会連合、DPI日本会議、全日本手をつなぐ育成会、全国精神障害者家族会連合会、全日本ろうあ連盟、全国脊髄損傷者連合会、日本障害者協議会――のいわゆる「障害者八団体」。それぞれ個別給付に伴う国家予算の義務的経費化、障害種別の総合化など法案の大枠は評価したが、検討を望む項目を目いっぱい列挙した。

要望の中でも「移動介護は裁量的経費の地域生活支援事業ではなく個別給付とすべき」（笹川吉彦・日盲連会長、尾上浩二・DPI事務局長ほか）、「精神障害者は特に利用できるサービスが少ない。医療費負担は5%を維持してほしい」（小松正泰・全家連理事長）、「医療モデルではなくICFを受けた障害程度区分の判定が必要」（大濱眞・脊損連副理事長）などは重なる意見だ。

また、グランドデザインや法案が短期間で提出されたために当事者は議論の時間が少なく、「不安が募り危機感となっている」（藤井克徳・JD常務理事）、「具体的な施策がなければ就労支援は理念倒れになる」（松友了・育成会常務理事）といった見方も共通していた。

焦点の応益負担導入については「経過措置など知恵を絞ってほしい」（森祐司・日身連事務局長）、「やむを得ないなら、せめて当面3%からスタートするなど所得状況を見て検討できないか」（安藤豊喜・ろうあ連盟理事長）などの意見もあるが、同一生計者に利用者負担を求める政府案に対しては、全員が「本人に限定すべき」と訴えた。

これらの意見はかねて要望書として厚生労働大臣や各政党へ伝えてきたものだが、国会で障害者らが陳述したのは初めてのことだ。

なお、十三日の同委員会では、各党の議員が前日の障害者団体のアピール行動に触れ発言。最も早く今年十月の施行が予定されている「自立支援医療」に関する質疑が目立った。

「精神障害者にとって通院公費負担制度は地域で暮らす命綱。負担増で外来やデイケアへ行けなくなり、症状の悪化や入院、自殺さえあるかもしれない」（民主党・山井和則議員）、「育成医療や精神医療を自立支援法案にぶちこんで一割負担にするのは乱暴だ」（社民党・阿部知子議員）などの指摘が続いている。

厚生労働省は「他制度との整合性」を理由としているが、障害者団体からは「障害者の生活の実態との整合性がない」という声も上がっている。

スクラップブックを読む

■2005.5.23（月）福祉新聞

フォーラム

「応益負担導入は乱暴」

6600人が改革への不安訴え

「応益負担の導入はあまりに乱暴。財政難でも必要で十分な予算を確保してほしい」――。日本障害者協議会（JD）が十二日に都内で開いた障害者自立支援法を考えるフォーラムに、六千六百人もの障害者らが全国から駆けつけた。国会審議をにらみ開催したもので、参加団体の見解は「この内容のままで法案を成立させてはダメ」で一致。与野党議員に修正を迫った。

会場の日比谷公会堂・野外音楽堂には全国から障害者や家族、支援者が集まり、参加者らは皆「いても立ってもいられなかった」と負担増や急ピッチの改革への不安を訴えた。

JDに加盟する全国団体の代表らが法案に対する見解を語るシンポジウムでは、「所得保障や就労支援策が伴わない中での負担増は問題が大きい」ほか、「修正なしにこのまま法案を通過させてもらっては困る」が共通の意見。ただ、障害種別のサービスが一元化されること、個別給付の国の予算が義務的経費化されることなど法案の方向性には一定の評価があった。

しかし、予算確保と引き替えに導入される応益負担の仕組みには「大変厳しい内容だ」「容認できない」と鋭い意見が集中した。フォーラムのアピールでも「応益負担の導入はあまりに乱暴。本人が負担できない場合に家族に負担が及ぶのは障害者にとって心苦しく大きな屈辱。働きに行った場で費用負担が生じるのも納得いかない」と決議された。あくまでも負担額は本人の所得に限定して見てほしいとする。

また、義務的経費とは別の予算枠で実施される地域生活支援事業を市町村が安定して実施できるかどうかにも不安の声が多い。特に聴覚障害者のコミュニケーション支援や視覚・知的障害者の移動介護の切実なニーズを指摘する声が相次ぎ、市町村が支給決定するまでに当事者の意見が反映されるかも共通の不安事項として挙がっている。

一方、各党議員が法案に対する見解を表明するシンポジウムでは、民主・共産・社民の野党はいずれも「この内容で賛成はできない」との姿勢。与党は、公明党が「良い点もある法案だ」としたが、自民党は修正に関しては「修正すべきところがあれば修正したい」とした。

（フォーラムの詳細は次号以降で特集の予定です）

■2005.5.23（月）
福祉新聞

拙速な改革にストップ　慎重審議を求める」とアピール　問題の徹底解明

事務局だより

■ 事務所（「おぴった」３階）
〒078-8329　旭川市宮前通東4155番地30
電話･FAX 0166-31-2226

障連協の活動は３年目を迎え、活動の範囲が大幅に増えてきました。
常任理事の皆さんと理事の皆さんが各部会を担当され活動方針・計画案を作成、理事会にて承認。それぞれの部会が活発に動き出した新しい１年になりそうです。

平成１７年５月３０日・自民党の八代議員、その他２名の自民党議員が札幌において「障害者自立支援法のタウンミーティング」が行われました。私達、障連協や「応益負担に反対する旭川連絡会」のメンバーと共に２５名で参加を致しました。短期間の呼びかけにも関わらず集まった仲間達、障害者の死活問題であるこの法案、この問題に対し流暢な言葉で説明した八代議員の話に、問題意義を持っている私達でも「この法案は良いのでは？」と勘違いするほどでしたが、しかし、その説明に騙されなかったのも私達でした。

会場での発言も旭川の仲間達は切実なる訴えに八代議員も“たじたじ”でした。帰路の車中で参加の皆さんから感想を伺い、全員がこの法案を通してはいけないと確認し合いました。

これからの活動は大きなうねりとなり政府を動かす力になることでしょう。　（事務局長）

新年度もスタートし、新たに委託管理者制度の契約に昨年度から様々な事務処理を含め忙しい新年度となり、いよいよ当法人としての力量の問われる時代に突入した感じがあります。

新制度に関わる事業内容が常務理事会・理事会で幾度となく検討がなされ、総会でも最終決定を受けた中での予算執行となります。

しかし、ＮＰＯ法人ということである以上利益追求というのは難しい法人であるため、資金繰りの問題でも新規事業を含め様々な運用を考える年になりそうです。今後の運営は更なる努力が必要です。　（事務局員Ｏ）

障連協活動日誌　１７年４月～

実施年月日		事業名及び活動内容	会　場	参加数	備考欄
4月	1日	職員17年度辞令交付	管理事務室	15名	峰木、荒川、工藤、大山
	2日	事務局机配置変更	事務室		
	8日	業者選定委員会	会議室2	8名	理事長他
	11日	事業打合せ	相談室	3名	峰木、工藤、佐藤
	16日	期末監査	相談室	2名	惣井田、大山
	20日	常任理事会	共同事務室	9名	理事長他
	21日	事務局と管理事務打合せ	相談室	4名	工藤、大山、北野, 土居
	22日	「かたるべ」理事長来訪	全館案内	2名	峰木、工藤
	26日	指名競争入札	会議室2	4名	峰木、工藤、大山、土居
5月	6日	理事会	第1会議室	17名	理事長他、1名代理出席
	10日	発達障害･自閉症支援センター意見交換会	第1会議室意見交換会	5名	峰木、荒川、青木、土居
	13日	職親会、表彰式、祝賀会	花月会館	1名	工藤
	22日	定期総会	第1会議室	33名	理事長他
	〃	懇親会	旭川地ビール館	20名	理事長他
	24日	旭川市障害者スポーツフェスタ会議（スポーツ部会）	共同事務室	5名	惣井田、冨田、深田、大山、小平
	28日	事業部会	共同事務室	4名	佐藤、荒川、峰木、工藤
	30日	自民党タウンミーティング出席	札幌市	25名	理事長他
	31日	旭川市障害福祉課、課長、主幹来訪	相談室	3名	工藤
	〃	広報部会	相談室	5名	篠田、青木、他
	〃	事業部会	共同事務室	6名	佐藤、峰木他
6月	2日	事業部会	市民委員会訪問、啓明地区	2名	佐藤、峰木
	〃	旭川障害者水泳教室	プール	4名	課長、主査、工藤、小平
	3日	自衛隊旭川地域援護藤原氏来訪	相談室	1名	工藤
	〃	高橋相談役と打合せ	相談室	2名	高橋、工藤
	4日	スポーツ部会、スポーツフェスタ打合せ	共同事務室	6名	惣井田、冨田、他
	〃	作業療法士会3名来訪	作業療法士会3名来訪	4名	工藤
	7日	文化部会打合せ	相談室	4名	鈴木、稲垣、大橋、工藤
	〃	おぴったまつり事業部会	共同事務室	6名	理事長他
	〃	旭川市高橋主幹情報コーナーの利用について	1階情報コーナー	8名	理事長他
	8日	理事会	共同事務室	18名	理事長他

第1回 おぴったまつり

日　時：平成17年8月10日（水）　午前11時～午後7時
場　所：旭川市障害者福祉センター「おぴった」駐車場
旭川市宮前東4155番地の30

アトラクション　ミニSL・大道芸・よさこい（龍心会）
太鼓・カラオケ・踊り

画：引地康夫
第4回 こころの美術展銅賞
（日本精神科看護技術協会長賞）

■共同作業所作品展示即売会
■出店メニュー：やき鳥、やきイカ、やきそば、フランクフルト、唐揚げ、いももち
たこ焼き、フライドポテト、アメリカンドック、揚げいも
ビール、枝豆、ジュース、ラムネ

主　催：NPO法人 旭川障害者連絡協議会
後　援：旭川市、旭川開発建設部、旭川地方気象台、旭川市教育委員会、啓明地区市民委員会、マックス・バリュー、ツルハ、ベスト電器、北海道新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、ライナー、NHK旭川放送局、旭川市社会福祉協議会

編集後記

旭川市の財政事情が厳しい状況にあり、平成１７年度から旭川市の直轄事業を無くし、大きな業務のほとんどを指定管理業者に入札する仕組みになりました。勿論『おぴった』の運営管理等がそのたぐいになりました。殊に予算の年度末には、始めての新しい制度の中で旭川市が提示する限られた予算の中で法人の執行者や事務局にとって、頭のいたい大変な日々が続いたと思う。然し、旭川市の財政による福祉後退は絶対にないよう心がけたい。多くの利用者が期待しているのだ、どんな事があっても動じない、その責任の重さを思う。　広報部　篠田

NPO法人 障連協にゅーす 第5号

■発行日／2005年7月10日
■編　集／NPO法人 旭川障害者連絡協議会
■発行者／理事長 峰木 光春
■住　所／旭川市宮前通東4155番地30
障害者福祉センター 「おぴった」3F
■電　話／0166－31－2226

■印刷：障害者地域共同作業所「かがやき工房」 〒070-0035 旭川市5条通5丁目1690-1 TEL・FAX 29-1294